

## **IBM Interact**

バージョン 9 リリース 1.1

2014 年 11 月 26 日

システム・テーブル・データ・  
ディクショナリー

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. The letters are composed of horizontal bars, with the "I" and "M" having a small gap at the top and bottom respectively.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、79 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Interact バージョン 9、リリース 1、モディフィケーション 1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Interact  
Version 9 Release 1.1  
November 26, 2014  
System Tables Data Dictionary

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2001, 2014.

---

## 目次

第 1 章 IBMInteract 設計システム・テーブル . . . . .	1	プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項 . . . . .	81
第 2 章 IBM Interact ランタイム・システム・テーブル . . . . .	35		
第 3 章 IBM Interact 学習テーブル . . . . .	53		
第 4 章 IBM Interact ユーザー・テーブル . . . . .	59		
第 5 章 IBM Interact コンタクトおよびレスポンス履歴テーブル . . . . .	63		
第 6 章 IBM Interact イベント・パターン・レポート・テーブル . . . . .	67		
第 7 章 IBM Interact イベント・パターン ETL テーブル . . . . .	73		
IBM 技術サポートへのお問い合わせ . . . . .	77		
特記事項 . . . . .	79		
商標 . . . . .	81		



## 第 1 章 IBMInteract 設計システム・テーブル

IBM®Interact 設計サーバーをインストールしたら、Interact の動作に必要なシステム・テーブルをデータ・ソース内にセットアップする一連の SQL スクリプトも実行します。本書は、設計システム・テーブルの構造および内容について記載したデータ辞書として使用できます。

### UACI\_ICBatchOffers

オファーと対話式チャネルのマッピングが入っています。特定の対話式チャネル (IC) に対する各オファーは、配置時にその IC の配置に追加されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ICName	VARCHAR	64	false	対話式チャネルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferCode1	VARCHAR	64	false	offerCode の最初の部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferCode2	VARCHAR	64	true	オプションである、offerCode の 2 番目の部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferCode3	VARCHAR	64	true	オプションである、offerCode の 3 番目の部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferCode4	VARCHAR	64	true	オプションである、offerCode の 4 番目の部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferCode5	VARCHAR	64	true	オプションである、offerCode の 5 番目の部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

## UACI\_Rule

ルール情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RuleID	INT64		false	1 次キー。ルールの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
RuleGroupID	INT64		false	外部キー。RuleGroup の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
MarketWeight	INT32		true	方法ページのスライダー設定を表す 1 から 100 までの値。
Disabled	INT32		true	このルールがアクティブか非アクティブかを示します。
DisplayOrder	INT32		true	方法ページでのこのルールの表示位置に影響を与えます。
OfferID	INT64		false	外部キー。このルールで参照されているオファーの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ZoneID	INT64		true	外部キー。このルールが適用されるゾーンの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CreateDate	DATETIME		true	このルールが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このルールを最初に作成したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		true	このルールが最後に変更された日付。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
UpdateBy	INT32		true	このルールを最後に変更したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
PredicateID	INT64		true	外部キー。このルールに関連付けられた述部の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

## UACI\_Predicate

方法ページの詳細ルール・オプションに定義されている述部情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PredicateID	INT64		false	1 次キー。述部の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
名前	VARCHAR	64	true	述部の名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
説明	VARCHAR	512	true	述部の説明。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
Predicate	VARCHAR	4000	true	述部の式。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
EnableStateID	INT32		false	この述部が無効か、ブール・フィルターとして機能するか、あるいはマーケティング・スコアの計算手段として機能するかを示すフラグ。値は以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1=「無効」</li> <li>• 2=「列としてのみ式を使用」</li> <li>• 3=「述部のみを使用」</li> </ul>

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
FolderID	INT64		true	外部キー。この述部を含むフォルダーの固有 ID。これは現時点で使用されていません。複数のフォルダーにわたって述部を管理するための領域が GUI にないため、将来使用するために追加されました。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CreateDate	DATETIME		true	この述部が最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	この述部を最初に作成したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		true	この述部が最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	この述部を最後に変更したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。

## UACI\_PredState

述部オプションが列挙されたタイプ・テーブル。[無効、ブール・フィルター、マーケティング・スコア計算器]

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EnableStateID	INT32		false	1 次キー。使用可能状態の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
説明	VARCHAR	512	true	有効状態の説明。以下の値をとります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1=「無効」</li> <li>• 2=「列としてのみ式を使用」</li> <li>• 3=「述部のみを使用」</li> </ul>



## UACI\_ProfileMap

中心的なプロフィール・マップ情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ICID	INT64		false	外部キー。対話式チャンネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
AudienceLevel	VARCHAR	64	false	このプロフィールが表すオーディエンス・レベル。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
PhysicalTableName	VARCHAR	64	true	基本プロフィール・テーブルとして使用される基礎データベース表の実名。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
LogicalTableName	VARCHAR	64	true	プロフィール・テーブルの仮想名。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
ProfileData	TEXT		true	XML 形式のプロフィール・マップ定義が入った BLOB。
CreateDate	DATETIME		true	このプロフィール・マップが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このプロフィール・マップを作成したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		true	このプロフィール・マップが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このプロフィール・マップを最後に変更したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。

## UACI\_RuleGroup

ルール・グループ情報が保管されます。ルール・グループとは、ある方法内の特定のセグメントに関連付けられたルールからなるグループのことです。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RuleGroupID	INT64		false	1 次キー。ルール・グループの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CellID	INT64		false	外部キー。このルール・グループと関連付けられたセルの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
StrategyID	INT64		false	外部キー。このルール・グループを所有する方法の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
SegmentID	INT64		false	外部キー。このルール・グループと関連付けられたセグメントの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
DisplayOrder	INT32		true	このルール・グループが表示される、方法ページ内の位置を示します。
CreateDate	DATETIME		true	このルール・グループが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このルール・グループを最初に作成したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		true	このルール・グループが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このルール・グループを最後に変更したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LearningMode	INT32		true	このルール・グループの学習モードを示します (つまり、オファ어의ランク付けにマーケティング担当者のスコアを使用するのか、それとも学習スコアを使用するのか)。有効な値は 1、2、または 3 です。
LearningModelID	INT64		true	学習スコアを使用するように LearningMode が設定されている場合は、使用する学習モデルの ID を示します。

## UACI\_DepFlowchart

配置されたすべてのフローチャート・オブジェクトが保管されます。対話式チャンネル (IC) が配置されるたびに、レコードが追加されます。このテーブルは、同じ IC が後に配置される際に重要になります。ユーザーがフローチャートを変更していない場合は、配置アクションにおいてこのテーブルが参照され、以前配置されたものと同じフローチャートが配置されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeploymentID	INT64		false	外部キー。配置の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
FlowchartID	INT64		false	外部キー。フローチャートの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
FlowchartName	VARCHAR	64	true	フローチャートの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
AudienceLevel	VARCHAR	64	true	フローチャートのオーディエンス・レベル。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SessionID	INT64		true	外部キー。このフローチャートを含むセッション・オブジェクトの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
SessionName	VARCHAR	64	true	このフローチャートを含むセッション・オブジェクトの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
RequestUser	INT32		true	配置を実行したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestUserName	VARCHAR	64	true	配置を実行したユーザーの名前。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestTime	DATETIME		true	配置実行時のタイム・スタンプ。
DeployTypeID	INT32		true	配置のタイプ (追加、更新、解除など)。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
SerializedObject	IMAGE		true	フローチャートの Java 直列化オブジェクト。方法オブジェクトの 2 進数表現でなければなりません。

## UACI\_DepStratTab

配置されたすべての方法オブジェクトが保管されます。対話式チャネル (IC) が配置されるたびに、レコードが追加されます。このテーブルは、同じ IC が後に配置される際に重要になります。ユーザーが方法を変更していない場合は、配置アクションにおいてこのテーブルが参照され、以前配置されたものと同じ方法が配置されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
StrategyID	INT64		false	外部キー。方法の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
DeploymentID	INT64		false	外部キー。配置の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
StrategyName	VARCHAR	64	true	方法オブジェクトの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CampaignID	INT64		true	外部キー。この方法を含むキャンペーンの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CampaignName	VARCHAR	64	true	この方法を含むキャンペーンの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
RequestUser	INT32		true	配置を実行したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestUserName	VARCHAR	64	true	配置を実行したユーザーの EMM Marketing Platform 名。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
RequestTime	DATETIME		true	配置実行時のタイム・スタンプ。
DeployTypeID	INT32		true	配置のタイプ (追加、更新、解除など)。
SerializedObject	IMAGE		true	方法の Java 直列化オブジェクト。方法オブジェクトの 2 進数表現でなければなりません。

## UACI\_TrmtRuleInv

配置されたすべての処理ルールが保管されます。対話式チャネル (IC) が配置されるたびに、レコードが追加されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TreatmentRuleID	INT64		false	1 次キー。処理ルールの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
DeploymentID	INT64		false	外部キー。配置の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	外部キー。対話式チャネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	false	対話式チャネルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CellID	INT64		false	外部キー。セルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CellName	VARCHAR	64	false	セルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
ZoneID	INT64		false	外部キー。ゾーンの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ZoneName	VARCHAR	64	true	ゾーンの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
StrategyID	INT64		false	外部キー。方法の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
StrategyName	VARCHAR	64	false	方法オブジェクトの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
OfferID	INT64		false	外部キー。オファーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
OfferName	VARCHAR	130	false	オファーの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CampaignID	INT64		false	外部キー。この方法を含むキャンペーンの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
CampaignName	VARCHAR	64	false	この方法を含むキャンペーンの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CampaignCode	VARCHAR	64	true	この方法を含むキャンペーンのコード。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SegmentID	INT64		true	外部キー。セグメントの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
SegmentName	VARCHAR	64	true	セグメントの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
MarketWeight	INT32		false	マーケティング・スコア・スライダーの値 (1 から 100 まで)。
LastUpdate	DATETIME		true	配置実行時のタイム・スタンプ。
Predicate	VARCHAR	4000	true	ルールの述部式 (ある場合)。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
EnableStateID	INT32		true	詳細ルール・オプションのモード。値は、1=「無効」、2=「列としてのみ式を使用」、または 3=「述部のみを使用」です。

## UACI\_DepVersion

このテーブルには、配置によって自動生成されたバージョン付きの配置オブジェクトが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DepVersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン付き配置オブジェクトの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ICID	INT64		true	外部キー。対話式チャネル (IC) の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	true	これは、配置時の対話式チャネル名と同じです。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionNumber	INT32		true	これは、システムによって自動生成された、特定の IC に対するシーケンス番号です。
VersionName	VARCHAR	128	true	これは、ユーザーが UI で入力したバージョン名です。この一部は、ICName に基づいて生成されます。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
DeploymentData	IMAGE		true	配置オブジェクトの Java 直列化バージョンを含む BLOB。
CreateDate	DATETIME		true	このイベントが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このイベントを作成したユーザーの EMM Marketing Platform 名。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

## UACI\_DeployOpType

配置操作が列挙されたタイプ・テーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeployOpTypeID	INT32		false	1 次キー。配置状態の固有 ID。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = グローバル設定のみを配置</li> <li>• 2 = 対話式チャンネルのみを配置</li> <li>• 3 = 対話式チャンネルをグローバル設定と共に配置</li> <li>• 4 = 対話式チャンネルを配置解除</li> <li>• 5 = 対話式チャンネルのみを再配置</li> <li>• 6 = 対話式チャンネルをグローバル設定と共に再配置</li> </ul>
説明	VARCHAR	512	true	配置状態の説明。値には、SQL スクリプトによって追加された、上記のシード・データが含まれます。

## UACI\_Deployment

各配置の状況などの配置情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeploymentID	INT64		false	1 次キー。配置の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ICID	INT64		true	外部キー。対話式チャネル (IC) の固有 ID。
DeploymentStatusID	INT32		true	配置の状態。以下のいずれかの値です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = 初期化済み</li> <li>• 2 = 開始済み</li> <li>• 3 = 成功</li> <li>• 4 = 失敗</li> </ul>
StatusDetail	VARCHAR	1024	true	XML ベースの状況。この XML には、状況コード、エラー・コードのリスト、それぞれのパラメーターが含まれます。
DeployTypeID	INT32		true	配置のタイプを指定します (追加、更新、配置解除など)。値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = 操作不能</li> <li>• 2 = 追加</li> <li>• 3 = 更新</li> <li>• 4 = 解除</li> </ul>
StartTime	DATETIME		true	配置開始時のタイム・スタンプ。
EndTime	DATETIME		true	配置終了時のタイム・スタンプ。
IsProduction	INT32		true	この配置が稼働サーバー・グループをターゲットにしたものかどうかを示すフラグ。
ServerGroupName	VARCHAR	512	true	この配置の送信先であるサーバー・グループの名前。
RequestUser	INT32		true	配置を実行したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestUserName	VARCHAR	64	true	配置を実行したユーザーの EMM Marketing Platform 名。Marketing Platform データベース内の有効なユーザー名でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
説明	VARCHAR	512	true	配置/配置解除/再配置/グローバル配置操作中に UI に入力された、配置の説明。
DepVersionID	INT64		true	これは、UACI_DepVersion.DepVersionID に対する外部キーです。
RemoteID	VARCHAR	64	true	拡張イベント・パターンを使用した対話式チャンネルの配置の場合は、対応する Opportunity Detection 配置 ID です。
DeployOpTypeID	INT32		true	配置を実行したユーザーの名前。値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = グローバル設定のみを配置</li> <li>• 2 = 対話式チャンネルのみを配置</li> <li>• 3 = 対話式チャンネルをグローバル設定と共に配置</li> <li>• 4 = 対話式チャンネルを配置解除</li> <li>• 5 = 対話式チャンネルのみを再配置</li> <li>• 6 = 対話式チャンネルをグローバル設定と共に再配置</li> </ul>

## UACI\_DepStratQueue

これは、配置対象としてマークされた方法オブジェクトを保持するステージング・テーブルです。方法が配置対象としてマークされると、レコードが挿入されます。IC が配置されると、該当するレコードがこのテーブルから削除されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
StrategyID	INT64		false	1 次キー。方法の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
RequestUser	INT32		true	配置対象としてこの方法をマークしたユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestTime	DATETIME		true	この方法が配置対象としてマークされたときのタイム・スタンプ。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeployTypeID	INT32		true	外部キー。配置のタイプを示します (解除、更新、追加)。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

## UACI\_DepFlowQueue

これは、配置対象としてマークされた対話式フローチャート・オブジェクトを保持するステージング・テーブルです。フローチャートが配置対象としてマークされると、レコードが挿入されます。対話式チャンネル (IC) が配置されると、該当するレコードがこのテーブルから削除されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
FlowchartID	INT64		false	1 次キー。フローチャートの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
RequestUser	INT32		true	配置対象としてこのフローチャートをマークしたユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
RequestTime	DATETIME		true	このフローチャートが配置対象としてマークされたときのタイム・スタンプ。
DeployTypeID	INT32		true	外部キー。配置タイプ (追加、更新、配置解除) の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

## UACI\_DeployType

配置タイプ (追加、解除、更新など) が列挙されたタイプ・テーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeployTypeID	INT32		false	1 次キー。配置タイプの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
説明	VARCHAR	512	true	配置タイプの説明。値には、1 = 操作不能、2 = 追加、3 = 更新、4 = 解除があります。

## UACI\_EventAction

アクションとイベントを対応付けるマッピングが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventActionID	INT64		false	1 次キー。各イベント・アクションの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
EventID	INT64		false	外部キー。イベントの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ActionID	INT32		false	外部キー。アクションの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ActionValue	INT32		false	アクションが、対応するイベントに対して有効になっているかどうかを示すフラグ。ゼロでも NULL でもない値は、有効になっていることを示しています。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
IsAsync	INT32		false	アクションを非同期に実行する必要があるかどうかを示すフラグ。
ExecutionOrder	INT32		false	このアクションが実行される順序を示す数値。値は、0、1、などの整数です。

## UACI\_EventActionCondition

アクションが実行される前に着信イベントで一致していなければならない、名前と値のペアが含まれるテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventActionID	INT64		false	1 次キー。各イベント・アクションの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメータ値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメータ値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ParamName	VARCHAR	64	false	名前と値のペアにおける名前部分 (1 次キーの一部)。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
ParamValue	VARCHAR	255	false	名前と値のペアにおける値部分。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

## UACI\_EventActionExpr

アクションが実行される前に着信イベントで一致していなければならない、名前と値のペアが含まれるテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventActionID	INT64		false	1 次キー。各イベント・アクションの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメータ値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメータ値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AudienceLevel	VARCHAR	64	true	式で使用するために選択したフィールドのオーディエンス・レベル。システムで定義された有効なオーディエンス・レベルでなければなりません。
Expression	VARCHAR	1024	true	トリガーされる式。任意のテキスト文字を使用できます。
FieldName	VARCHAR	64	true	式の結果値を割り当てるフィールド名 (オプション)。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

### UACI\_EventActionInfr

このイベントの発生時に生成される推測イベントが含まれるテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventActionID	INT64		false	1 次キー。各イベント・アクションの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
InferredEventID	INT64		false	EventID に対する外部キー。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

### UACI\_EventPatternTest

フローチャート内のイベント・パターン状態のテスト値が含まれるテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
FlowchartID	INT64		false	1 次キー。対話式フローチャートの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventID	INT64		false	1 次キー。パターン状態のテスト値を指定する必要があるイベント・パターンの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
TestValue	INT32		true	パターン状態のテスト値。値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = TRUE</li> <li>• 0 = FALSE</li> <li>• -1 = 期限切れ</li> <li>• -2 = 無効</li> </ul>
CreateDate	DATETIME		false	このレコードが最初に挿入された日付。
CreateBy	INT32		false	このレコードを最初に挿入したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		false	CreateDate と同じ。
UpdateBy	INT32		false	CreateBy と同じ。

## UACI\_EventPatternItem

パターン定義で使用するイベントが保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventID	INT64		false	1 次キー。イベント・パターンの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ItemEventID	INT64		false	1 次キー。イベントの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ItemValue	INT32		false	重みづけパターンのスコア値またはカウンター・パターンのイベントの発生回数が保管されます。

## UACI\_EventPattern

イベント・パターンに関する追加情報が保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventID	INT64		false	1 次キー。イベント・パターンの固有 ID。
PatternType	INT32		false	パターンのタイプ。
IsEnabled	INT32		false	パターンが有効かどうかを示すフラグ。
IsAsync	INT32		false	パターンを非同期で評価するかどうかを示すフラグ。
StartDate	DATETIME		true	パターンの有効日。
EndDate	DATETIME		true	パターンの終了日。
ResetDuration	INT64		true	パターン状態が TRUE になってから、TRUE のままである時間 (ミリ秒単位)。
MatchTotal	INT32		true	「重みづけカウンター」パターンの場合の合計スコア。
TimeDuration	INT64		true	Opportunity Detection で使用される拡張パターンの場合、この列には時間パターンの期間が含まれます。
RemoteID	VARCHAR	64	true	Opportunity Detection で使用される拡張パターンの場合、この列には対応する Opportunity Detection トリガー ID が含まれます。

## UACI\_Event

イベント情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventID	INT64		false	1 次キー。イベントの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	イベントの名前。
説明	VARCHAR	512	true	イベントの説明。
CategoryID	INT64		false	外部キー。フォルダーと類似したカテゴリーの固有 ID。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventTypeID	INT32		false	外部キー。イベント・タイプの固有 ID。どのシステム・イベントなのか、あるいは、ユーザー定義イベントなのかどうかを示します。
CreateDate	DATETIME		true	このイベントが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	イベントを作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	このイベントが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このイベントを最後に変更したユーザーの Unica ID。

## UACI\_EventType

イベント・タイプが保管されたタイプ・テーブル。各レコードは、システムで認識されるイベント・タイプの各列挙に相当します (StartSession、GetOffers、UserDefined など)。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EventTypeID	INT32		false	1 次キー。イベント・タイプの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	イベント・タイプの名前。
IsSystemDefined	INT32		false	このイベント・タイプがシステム定義 (1 の場合) なのか、それともユーザー定義 (0 の場合) なのかを示します。

## UACI\_Action

アクション情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ActionID	INT32		false	1 次キー。アクションの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	true	アクションの名前。
説明	VARCHAR	512	true	アクションの説明。

## UACI\_IntFlowchart

対話式フローチャート情報が保管されます - このテーブルは実際には UA\_Flowchart の拡張です。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
FlowchartID	INT64		false	1 次キー。フローチャートの固有 ID。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。
AudienceLevel	VARCHAR	64	false	フローチャートのオーディエンス・レベル。
LastProdDepTime	DATETIME		true	このフローチャートが実稼働サーバー・グループに最後に配置された時刻。
RunEnable	INT32		false	このフローチャートが現在配置されているか、それとも配置されようとしているかを示します。0 の場合、配置されていません。1 の場合、配置されています。
DeleteLock	INT32		false	このフローチャートが削除可能かどうかを示します。0 は、削除可能です。1 は、削除不可です。
EditLock	INT32		false	このフローチャートが編集可能かどうかを示します。0 は、編集可能です。1 は、編集不可です。
FlowchartXML	TEXT		true	XML 形式のフローチャート全体の定義。
CreateDate	DATETIME		true	このフローチャートが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このフローチャートを最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	このフローチャートが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このフローチャートを最後に変更したユーザーの Unica ID。

## UACI\_ICToSvrGroup

IC とサーバー・グループのリンクを示すマッピングが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。
ServerGroupName	VARCHAR	512	true	IC に関連付けられたサーバー・グループの名前。
IsProduction	INT32		true	このサーバー・グループが、対応する IC の実稼働サーバー・グループとして使用されるかどうかを示すフラグ。

## UACI\_Category

カテゴリ情報が保管されます。カテゴリは、イベントのフォルダーまたはコンテナのように機能します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
CategoryID	INT64		false	1 次キー。カテゴリの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	カテゴリの名前。
説明	VARCHAR	512	true	カテゴリの説明。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。
IsSystemDefined	INT32		true	このカテゴリにシステム定義イベントが含まれるかどうかを示します。
CreateDate	DATETIME		true	このカテゴリが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	カテゴリを最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	このカテゴリが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このカテゴリを最後に変更したユーザーの Unica ID。

## UACI\_IntPoint

インタラクション・ポイント情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
IPID	INT64		false	1 次キー。インタラクション・ポイントの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	インタラクション・ポイントの名前
説明	VARCHAR	512	true	インタラクション・ポイントの説明。
DefaultString	VARCHAR	1024	false	オファーが生成されない getOffers 呼び出しで顧客対応システムに表示されるデフォルトのコンテンツ・ストリングが保管されます。
ZoneID	INT64		false	外部キー。この IP が属するゾーンの固有 ID。
CreateDate	DATETIME		true	この IP が最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	この IP を最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	この IP が最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	この IP を最後に変更したユーザーの Unica ID。

## UACI\_Zone

ゾーン情報が保管されます。ゾーンは、インタラクション・ポイントのコンテナとして機能します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ZoneID	INT64		false	1 次キー。ゾーンの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	ゾーンの名前。
説明	VARCHAR	512	true	ゾーンの説明。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。
CreateDate	DATETIME		true	このゾーンが最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	このゾーンを最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	このゾーンが最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	このゾーンを最後に変更したユーザーの Unica ID。
percentRandom	FLOAT		true	スコアの使用に対して、ランク付けを単にランダム化する時間の割合。
RuleGroupResolutionType	INT32		true	ルール・グループ間で学習モードが矛盾する場合にオファーのランク付けを解決する方法を示します。
LearningMode	INT32		true	このルール・グループの学習モードを示します (つまり、オファーのランク付けにマーケティング担当者のスコアを使用するのか、それとも学習スコアを使用するのか)。
LearningModelID	INT64		true	LearningMode で学習スコアを使用する場合は、使用する学習モデルの ID を示します。

## UACI\_Strategy

方法に関する情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
StrategyID	INT64		false	1 次キー。方法の固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	方法オブジェクトの名前。
説明	VARCHAR	512	true	方法の説明。
CampaignID	INT64		false	外部キー。この方法を含むキャンペーンの固有 ID。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LastProdDepTime	DATETIME		true	この方法が稼働サーバー・グループに最後に配置された時刻。
RunEnable	INT32		false	この方法が現在配置されているか、それとも配置されようとしているかを示します。0 の場合、配置されていません。1 の場合、配置されています。
DeleteLock	INT32		false	この方法が削除可能かどうかを示します。0 は、削除可能です。1 は、削除不可です。
EditLock	INT32		false	この方法が編集可能かどうかを示します。0 は、編集可能です。1 は、編集不可です。
CreateDate	DATETIME		true	この方法が最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	この方法を最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	この方法が最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	この方法を最後に変更したユーザーの Unica ID。

## UACI\_IntChannel

Interact チャンネル情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ICID	INT64		false	1 次キー。Interact チャンネルの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	Interact チャンネルの名前。
説明	VARCHAR	512	true	Interact チャンネルの説明。
OfferThreshold	INT32		false	同じセッション内で同じオファーを顧客対応システムに提示できる最大回数を表します。
LastProdDepTime	DATETIME		true	この IC が稼働サーバー・グループに配置されたときのタイム・スタンプ。
RunEnable	INT32		false	この IC が配置されているかどうかを示します。0 の場合、配置されていません。1 の場合、配置されています。
DeleteLock	INT32		false	この IC が削除可能かどうかを示します。0 は、削除可能です。1 は、削除不可です。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
EditLock	INT32		false	この IC が編集可能かどうかを示します。0 は、編集可能です。1 は、編集不可です。
CreateDate	DATETIME		true	この IC が最初に作成された日付。
CreateBy	INT32		true	この IC を最初に作成したユーザーの Unica ID。
UpdateDate	DATETIME		true	この IC が最後に変更された日付。
UpdateBy	INT32		true	この IC を最後に変更したユーザーの Unica ID。
PolicyID	INT32		true	オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。この ID により、このオブジェクトにアクセス可能な ASM ユーザーが決まります。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合は、オブジェクトが入っているフォルダーのセキュリティ・ポリシーが、そのオブジェクトのセキュリティ・ポリシーとして自動的に設定されます (ユーザーによる変更は不可)。ユーザーは、異なるセキュリティ・ポリシーが設定されている別のフォルダーにオブジェクトを移動することにより、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (移動元と移動先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、そのオブジェクトを「移動する」権限をユーザーが持っていなければなりません)。
ACLID	INT32		true	オブジェクトが、そのオブジェクト・タイプの最上位ルート・フォルダー内に作成された場合にのみ、ユーザーはこのフィールドを直接設定できます (ユーザーが役割を持っているセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。
IsActive	INT32		false	この列は当初、この IC がアクティブかどうかを示す標識として使用するためのものでした。現在、この列を使用しているところはありません。
percentRandom	FLOAT		true	スコアの使用に対して、ランク付けを単にランダム化する時間の割合。
RuleGroupResolutionType	INT32		true	ルール・グループ間で学習モードが矛盾する場合にオファのランク付けを解決する方法を示します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LearningMode	INT32		true	このルール・グループの学習モードを示します (つまり、オファーのランク付けにマーケティング担当者のスコアを使用するのか、それとも学習スコアを使用するのか)。
LearningModelID	INT64		true	LearningMode で学習スコアを使用する場合は、使用する学習モデルの ID を示します。

## UACI\_DeploymentStatus

配置状態が列挙されたタイプ・テーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DeploymentStatusID	INT32		false	1 次キー。配置状態の固有 ID。
説明	VARCHAR	512	true	配置状態の説明。

## UACI\_SYSTAB\_Ver

現行のインストール済み Interact 設計システム・テーブルのバージョン情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン・テーブルの固有 ID。
VersionNumber	VARCHAR	50	false	フル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド)。
パラメーター	VARCHAR	255	true	オプション・パラメーター - これは現在は使用されていませんが、将来使用するために確保されています。
CreateDate	DATETIME		false	Interact 設計システム・テーブルがインストールされたときの日付。

## UACI\_Constraint

制約の定義が保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ConstraintID	INT64		false	制約の固有 ID。
OfferFamilyIndicator	INT32		false	この制約のオファーが、オファー・リストとオファー・フォルダーのどちらに属するオファーなのかを示します。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferFolderID	INT64		true	offerFamilyIndicator がフォルダーのオファーとして設定されている場合は、そのオファー・フォルダーの ID。
OfferListID	INT64		true	offerfamilyindicator がオファー・リストのオファーとして設定されている場合は、そのオファー・リストの ID。
icID	INT64		false	この制約を含む IC の ID。
isEnabled	INT32		false	この制約がアクティブかどうかを示すフラグ。有効な制約のみが IC に配置されます。
名前	VARCHAR	64	true	制約オブジェクトの名前。
説明	VARCHAR	512	true	制約オブジェクトの説明。
maxOffers	INT32		true	この制約に関連付けられたオファーを提示できる最大回数。
startTime	DATETIME		true	制約が有効になる時刻 - この開始時刻になるまでオファーは制約を受けます。
endTime	DATETIME		true	制約によってオファーの提示を停止する時刻。
distInterval	INT32		true	最大数制限をシステムが適用する間隔を示します。例えば、配信するオファーの数が 1 時間あたり、1 日あたり、7 日あたりといった時間単位に 100 を超えないようにします。
maxPerInterval	INT32		true	distInterval あたりのオファーの最大数。
allocationSize	INT32		true	現在、このフィールドは使用されていません。これの代わりに、システムは構成設定を使用します。このフィールドは、Interact ランタイム・インスタンスがオファーを配信するたびに毎回データベースにアクセスしなくて済むように、ランタイム・インスタンスが割り振るオファー数を示すためのものでした。割り振りが小さいほど、DB ヒット数が多くなります。
CreateDate	DATETIME		true	制約オブジェクトが作成された日付。
CreateBy	INT32		true	制約オブジェクトを作成したユーザー ID。
UpdateDate	DATETIME		true	制約オブジェクトの最終更新時刻。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
UpdateBy	INT32		true	制約オブジェクトを最後に更新したユーザーのユーザー ID。

### UACI\_DistInterval

UACI\_Constraint テーブルの distInterval フィールドを列挙したテーブル。1 時間ごと、1 日ごと、7 日ごと、30 日ごと、1 カ月ごとといった、最大数制限を適用するレベルを示します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DistInterval	INT32		false	1 次キー。配信間隔の固有 ID。
説明	VARCHAR	512	true	説明。

### UACI\_OfferFamily

UACI\_Constraint テーブルの offerFamily フィールドを列挙したテーブル。制約に関連付けられたオファーのファミリーを割り振る方法 (フォルダーとオファー・リストのどちらか) を示します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferFamilyIndicator	INT32		false	1 次キー。offerFamily タイプの固有 ID。
説明	VARCHAR	512	true	説明。

### UACI\_LearningModel

学習モデル・オブジェクトが保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LearningModelID	INT64		false	1 次キー。学習モデルの固有 ID。
名前	VARCHAR	64	false	名前。
説明	VARCHAR	512	true	説明。
icID	INT64		false	学習モデルを含む IC の ID。
isEnabled	INT32		false	学習モデルがアクティブかどうかを示すフラグ。
CreateDate	DATETIME		true	この学習モデルの作成日。
CreateBy	INT32		true	学習モデル・オブジェクトを作成したユーザー ID。
UpdateDate	DATETIME		true	学習モデル・オブジェクトの最終更新時刻。
UpdateBy	INT32		true	学習モデル・オブジェクトを最後に更新したユーザー ID。

## UACI\_LModelAttr

各学習モデル・オブジェクトの属性が保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LearningModelAttrID	INT64		false	1 次キー。learningmodel 属性の固有 ID。
LearningModelID	INT64		false	この属性を含む学習モデルの ID。
名前	VARCHAR	64	false	このレコードが表す属性の名前。

## UACI\_LearningMode

学習モード (1: 学習モードの設定なし 2: マーケティング担当者のスコアを使用 3: 学習スコアを使用) を列挙したテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LearningMode	INT32		false	エンジンで、オファーのランキングに学習スコアを使用するか、それともマーケティング担当者のスコアを使用するかを示します。
説明	VARCHAR	512	true	説明。

## UACI\_RGResolution

ルール・グループ間で矛盾する学習を解決するオプションを列挙したテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RuleGroupResolutionType	INT32		false	ルール・グループ間で学習モードが矛盾する場合にオファーのランク付けを解決する方法を示します。
説明	VARCHAR	512	true	説明。

## UACI\_OfferTblType

対話リスト・プロセス・ボックスでサポートされるテーブル駆動型の機能のタイプが列挙されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
offerTblTypeID	INT32		false	定義されたテーブル駆動型の機能のタイプを示します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
名前	VARCHAR	64	true	テーブル駆動型の機能の名前 (ホワイト・リスト、ブラック・リスト、グローバル・オファー、および offersBySQL).
説明	VARCHAR	512	true	説明。

## UACI\_OffersByTbl

ホワイト・リスト、ブラック・リスト、およびグローバル・オファーの構成情報が保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
icID	INT64		false	このテーブル駆動型オファー・マッピング機能にアクセス可能な IC。
offerTblTypeID	INT32		false	テーブル駆動型の機能 (ホワイト・リスト、ブラック・リスト、グローバル・オファー) を示します。
audienceLevel	VARCHAR	64	false	このテーブル駆動型の機能が表すオーディエンス・レベル。
physicalTable	VARCHAR	64	false	オファー・コードが保管された物理テーブルの名前。
isEnabled	INT32		false	この offersByTbl 定義がアクティブかどうかを示します。
lastRunTime	DATETIME		false	対話リスト・プロセス・ボックスを含むキャンペーン・バッチ・フローチャートが最後に実行された時刻を示します。
lastRunBy	INT32		false	このレコードを設定する対話リスト・プロセス・ボックスを含むキャンペーン・バッチ・フローチャートを実行したユーザーのユーザー ID。
sourceFlowchartID	INT64		false	このレコードを設定する対話リスト・プロセス・ボックスを含むキャンペーン・フローチャートの ID。

## UACI\_OffersBySQL

OffersBySQL 定義の構成情報が保管されたテーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
icID	INT64		false	生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数。
offerSQLName	VARCHAR	64	false	任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
offerSQLTemplate	VARCHAR	4000	true	任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
physicalTable	VARCHAR	64	true	任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
isEnabled	INT32		false	offersBySQL が有効かどうかを示すフラグ。値は以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 0=「無効」</li><li>• 1=「有効」</li></ul>
isDefault	INT32		false	offersBySQL がデフォルトかどうかを示すフラグ。値は以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 0=「デフォルトではない」</li><li>• 1=「デフォルトである」</li></ul>
lastRunTime	DATETIME		false	offersBySQL が最後に実行された日時。
lastRunBy	INT32		false	offersBySQL を最後に実行したユーザーの EMM Marketing Platform ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
sourceFlowchartID	INT64		false	このレコードを設定する対話リスト・プロセス・ボックスを含むキャンペーン・フローチャートの ID。

## UACI\_RuleOfferAttrOverride

オファー・テンプレートおよび定義から継承したオファー属性値をオーバーライドするテーブル。オーバーライド値を指定するには、対話方法内の個々のルールのおファー属性を編集します。このテーブルに定義されたオーバーライドは、オファーのパーソナライズ時にのみ使用されます。オファーの取り込みの計算時には無視されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RuleID	INT64		false	ルールの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
OfferAttributeID	INT64		false	このルールがオーバーライドするオファー属性の ID。
Expression	VARCHAR	500	true	マクロ式は、オファーのパーソナライズ時に継承された属性値をオーバーライドします。この属性値のオーバーライドは、オファーの取り込みを計算する際に無視されます。

## 第 2 章 IBM Interact ランタイム・システム・テーブル

IBM Interact ランタイム・サーバーをインストールしたら、一連の SQL スクリプトを実行して、Interact の動作に必要なシステム・テーブルをデータ・ソース内にセットアップする必要もあります。本書は、ランタイム・システム・テーブルの構造および内容が記載されたデータ・ディクショナリーとして使用できます。

### UACI\_CHRHAudMap

これは、ランタイム・システムが起動時にデータを取り込むテーブルです。このテーブルには、さまざまな CH および RH ステージング・テーブルへのオーディエンス・レベルのマッピングが保管されます。ステージング・テーブルはオーディエンス・レベルごとに存在し、カスタマイズが必要であるため、このテーブルが、設計側で実行される ETL プロセスのリソースとして機能して、ランタイム側のステージング・テーブルの名前を決定します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AudienceLevel	VARCHAR	64	false	1 次キー。システムに構成されているオーディエンス・レベル (顧客、世帯など)。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CHOfferAttribTable	VARCHAR	64	false	特定のオーディエンス・レベルのコンタクト履歴オファー属性ステージング・テーブルの名前。
CHStagingTable	VARCHAR	64	false	特定のオーディエンス・レベルのコンタクト履歴ステージング・テーブルの名前。
RHStagingTable	VARCHAR	64	false	特定のオーディエンス・レベルのレスポンス履歴ステージング・テーブルの名前。

### UACI\_EventActivity

このテーブルには、どのイベントが、いつ、何回、顧客対応システムから通知されたかを示す要約統計が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	false	Interact チャンルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
TimeID	INT64		true	外部キー。このイベントの発生時刻を参照。
DateID	INT64		true	外部キー。このイベントの発生日付を参照。
EventID	INT64		false	イベントの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
EventName	VARCHAR	64	false	イベントの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
Occurrences	INT64		false	今回のイベントの発生回数を示すカウント。
CategoryID	INT64		false	イベントが含まれるカテゴリの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CategoryName	VARCHAR	64	false	カテゴリの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。



## UACI\_EligStat

このテーブルは、対象オファーに関する要約統計を保管するものであり、対象オファーの統計を示すレポートのデータ・ソースとして機能します。カウントは、インタラクション・ポイント (IP)、オファー、およびセルごとに保持されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	外部キー。Interact チャンネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	false	Interact チャンネルの名前。
OfferID	INT64		false	外部キー。オファーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
OfferName	VARCHAR	130	false	オファーの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
TimeID	INT64		true	外部キー。この <code>eligibleStat</code> の発生時刻を参照。
DateID	INT64		true	外部キー。この <code>eligibleStat</code> の発生日付を参照。
CellID	INT64		false	外部キー。セルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CellName	VARCHAR	64	false	セルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
CellCode	VARCHAR	64	false	セルのコード。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
IPID	INT64		false	インタラクション・ポイントの ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
IPName	VARCHAR	64	false	インタラクション・ポイントの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
EligibleOpps	INT64		false	今回のオファー/セル/IP で対象となる機会のカウント。
CampaignID	INT64		false	関連付けられたキャンペーンの ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

### UACI\_CHOfferAttrib

このテーブルは、コンタクト履歴オファー属性のロギングのステージング領域として機能します。このテーブルは、UACI\_CHStaging テーブルからディメンションを取り出したものです。コンタクト履歴サービスは、このテーブルにデータを追加します。設計環境から実行される ETL プロセスは、このテーブルのレコードを処理します。また、ETL プロセスは、処理に成功したレコードを削除します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ContactID	INT64		false	外部キー。UACI_CHStaging テーブルに挿入されたコンタクトの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AttributeID	INT64		false	(UA_AttributeDef の) 属性の ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
StringValue	VARCHAR	512	true	属性値 (属性タイプが文字列の場合)。
NumberValue	FLOAT		true	属性値 (属性タイプが数値の場合)。
DateTimeValue	DATETIME		true	属性値 (属性タイプが datetime の場合)。

## UACI\_CHStaging

このテーブルは、コンタクト履歴レコードのロギングのステージング領域として機能します。コンタクト履歴サービスは、このテーブルにデータを追加します。設計環境から実行される ETL プロセスは、このテーブルのレコードを処理します。また、ETL プロセスは、処理に成功したレコードを削除します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ContactID	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
TreatmentCode	VARCHAR	512	false	生成された処理コード。セル ID、オファー ID、およびオファー・パラメーターに基づいて生成された文字列でなければなりません。
CampaignID	INT64		true	このコンタクトが作成されたセルを含むキャンペーンの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
OfferID	INT64		true	オファーの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
CellID	INT64		true	セルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
CustomerID	INT64		true	オーディエンス ID。
ContactDate	DATETIME		true	コンタクトが行われた日付。
ExpirationDateTime	DATETIME		true	オファーの満了日。
EffectiveDateTime	DATETIME		true	オファーの有効日。
ContactType	INT32		true	<code>UA_ContactStatus</code> の <code>contactStatusID</code> にマップされるコンタクト (0: UNDEFINED、1: CONTACTED)。
UserDefinedFields	CHAR	18	true	このフィールドは、ユーザーがカスタマイズ可能な任意のフィールドを表します。BLOB と CLOB を除く任意のデータベース型の有効な値にすることができます。
Mark	INT64		false	ETL による処理が完了したレコードを判別するためにシステムが使用します。有効な値は、NULL、-1、0、2 です。
RTSelectionMethod	INT32		true	このメソッドは、オファーがオリジナルのコンタクトでどのようにして学習アルゴリズムによって選択されたのかを示します。これは、上昇レポートで役に立ちます。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• NO_LEARNING_ENABLED=0</li> <li>• RANDOM_SELECTION=1</li> <li>• BUILT_IN_LEARNING=2</li> <li>• EXTERNAL_LEARNING=3</li> </ul>
RTLearningMode	INT32		true	この処理のランキングに学習スコアとマーケティング担当者のスコアのどちらが使用されたのかを示します (2: マーケティング担当者のスコア、3: 学習スコア)。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RTLearningModelID	INT64		true	学習スコアが使用された場合、これは、使用された学習モデルの ID を示します。0 の場合、使用された学習モデルは、グローバルに定義された学習モデルです。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

## UACI\_RHStaging

このテーブルは、レスポンス履歴 (RH) のステージング領域として機能します。レスポンス履歴サービスは、このテーブルにデータを追加します。設計環境から実行される ETL プロセスは、このテーブルのレコードを処理します。また、ETL プロセスは、処理に成功したレコードを削除します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
TreatmentCode	VARCHAR	512	true	生成された処理コード。この値は、セル ID、オファー ID、およびオファー・パラメーターに基づいて生成された文字列です。
CustomerID	INT64		true	このフィールドはオーディエンス ID を表します。
ResponseDate	DATETIME		true	レスポンスが通知された時のタイム・スタンプ。
ResponseType	INT32		true	レスポンス・タイプ。値は、未定義 (0)、承認 (1)、または拒否 (2)。
ResponseTypeCode	VARCHAR	64	true	レスポンス・タイプの特定のコード。有効な値については、「 <i>IBM Campaign System Tables</i> 」ガイドで <code>UA_UsrResponseType</code> テーブルの <code>ResponseTypeCode</code> を参照してください。
Mark	INT64		false	ETL による処理が完了したレコードを判別するためにシステムが使用するフィールド。取り得る値は、NULL、-1、0、2 です。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
UserDefinedFields	CHAR	18	true	このフィールドは、ユーザーがカスタマイズ可能な任意のフィールドを表します。BLOB と CLOB を除く任意のデータベース型の有効な値にすることができます。
RTSelectionMethod	INT32		true	このメソッドは、オファーがオリジナルのコンタクトでどのようにして学習アルゴリズムによって選択されたのかを示します。これは、上昇レポートで役に立ちます。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• NO_LEARNING_ENABLED=0</li> <li>• RANDOM_SELECTION=1</li> <li>• BUILT_IN_LEARNING=2</li> <li>• EXTERNAL_LEARNING=3</li> </ul>
RTLearningMode	INT32		true	この処理のランキングに学習スコアとマーケティング担当者のスコアのどちらが使用されたのかを示します (2: マーケティング担当者のスコア、3: 学習スコア)。
RTLearningModelID	INT64		true	学習スコアが使用された場合、これは、使用された学習モデルの ID を示します。0 の場合、使用された学習モデルは、グローバルに定義された学習モデルです。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。

## UA\_Time

このテーブルには、特定時刻の時間と分についての情報を示す時間情報が保持されます。これは、レポート作成を簡易化するために使用されます。実装セットアップの一環として、このテーブルにデータを設定する必要があります。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TimeID	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。
Hour	INT32		true	指定時刻の「時」の部分。
Minute	INT32		true	指定時刻の「分」の部分。

## UA\_Calendar

このテーブルには、暦四半期、曜日、週の最初の曜日と最後の曜日といった情報を示すカレンダー情報が保持されます。時系列のレポート作成を容易にするために使用されます。このテーブルは、実装時にお客様がカスタマイズする必要があります。コンタクト履歴で参照される日付をこのテーブルで対応できる期間に収めるのは実装環境の責任です。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
DateID	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。
Year	INT32		false	日付の年 (4 桁)。
FiscalYear	INT32		false	日付の会計年度 (4 桁)。
Quarter	INT32		false	日付の暦四半期 (第 1 四半期は 1 月 1 日から 3 月 31 日まで)。
FiscalQuarter	INT32		true	日付の暦四半期
Month	INT32		false	日付の月
WeekOfYear	INT32		false	その日付は第何週か。
WeekOfMonth	INT32		false	その日付は月の第何週か。
DayOfYear	INT32		false	日付の年間通算日。
DayOfMonth	INT32		false	日付の月間通算日
DayOfWeek	INT32		false	日付の曜日。
ActualDate	DATETIME		false	この行で表されている日付。
FirstDayOfWeek	DATETIME		false	この日付の週の最初の曜日。
LastDayOfWeek	DATETIME		false	この日付の週の最後の曜日。

## UACI\_DefaultedStat

このテーブルには、訪問者に対してオファーが提示される代わりに IP のデフォルトの文字列が提示された回数 (インタラクション・ポイント (IP) あたり) についての要約統計が保管されています。このテーブルは、レポート・システムによって使用されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルの固有 ID。
TimeID	INT64		true	外部キー。この defaultStat の発生時刻を参照。
DateID	INT64		true	外部キー。この defaultStat の発生日付を参照。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SegmentID	INT64		true	これは 0 のままです。当初、このテーブルのデータはセグメント別でしたが、これは設計ミスでした。現在は、このテーブルにはセグメント別ではなく訪問者別にカウントが挿入されます。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
SegmentName	VARCHAR	64	true	NULL のままです。上記を参照してください。
IPID	INT64		true	外部キー。インタラクション・ポイントの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
IPName	VARCHAR	64	true	インタラクション・ポイントの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
Occurrences	INT64		true	関連付けられたインタラクション・ポイントで、この期間に <code>defaultstats</code> が提供された回数。
ICID	INT64		false	外部キー。対話式チャンネルの固有 ID。

## UACI\_RTDeployment

このテーブルには、これまでランタイム・システムに配置されたすべての配置が保管されます。ランタイム・システムは、始動時に、このテーブルにあるすべてのアクティブな配置をメモリーにロードします。このテーブルには、配置の際にレコードが追加されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RTDeploymentID	INT64		false	1 次キー。配置の固有 ID。この ID は、 <code>UACI_Deployment</code> の配置 ID と一致します。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ICID	INT64		false	外部キー。対話式チャンネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
DeploymentData	IMAGE		true	配置オブジェクトの Java 直列化バージョン (2 進数表現) を含む BLOB。
RTDepStatusID	INT32		false	外部キー。この配置ステータスの固有 ID。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = 初期化済み</li> <li>• 2 = 開始済み</li> <li>• 3 = 成功</li> <li>• 4 = 失敗/キャンセル</li> </ul>
DeploymentVersion	INT64		false	配置オブジェクトの Java 直列化バージョン。この列が役に立つのは、配置データ・オブジェクトをシステムで非直列化できないという問題をデバッグするときだけです。
CreateDate	DATETIME		true	この <code>rtdeployment</code> レコードが最初に挿入された日付。
CreateBy	INT32		true	配置を開始したユーザーの ID。Marketing Platform データベースの有効なユーザー ID でなければなりません。
UpdateDate	DATETIME		true	CreateDate と同じ。
UpdateBy	INT32		true	CreateBy と同じ。
バージョン	VARCHAR	64	false	この配置レコードを挿入した Interact ランタイム・インストール済み環境のフル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド番号を示す文字列形式)。
IsActive	INT32		false	配置をアクティブにするかどうかを示すフラグ。配置解除された配置は非アクティブになります。

## UACI\_RTDepGlobal

このテーブルには、これまでランタイム・システムに配置されたすべてのグローバル配置が保管されます。ランタイム・システムは、始動時に、このテーブルにある最新の配置をメモリーにロードします。このテーブルには、グローバル設定を含む配置の際にレコードが追加されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RTDepGlobalID	INT64		false	1 次キー。UACI_Deployment の配置 ID と一致する、配置の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
DeploymentData	IMAGE		true	配置オブジェクトの Java 直列化バージョン (2 進数表現) を含む BLOB。
RTDepStatusID	INT32		false	外部キー。この配置ステータスの固有 ID。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = 初期化済み</li> <li>• 2 = 開始済み</li> <li>• 3 = 成功</li> <li>• 4 = 失敗/キャンセル</li> </ul>
CreateDate	DATETIME		true	この rtdeployment レコードが最初に挿入された日付。
CreateBy	INT32		true	配置を開始したユーザーのユーザー ID。
UpdateDate	DATETIME		true	CreateDate と同じ。
UpdateBy	INT32		true	CreateBy と同じ。

## UACI\_RTDepStatus

配置状態を含むタイプ・テーブル。各レコードは、システムで認識される配置ステータスのタイプの各列挙に相当します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RTDepStatusID	INT32		false	配置ステータスの固有 ID。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 = 初期化済み</li> <li>• 2 = 開始済み</li> <li>• 3 = 成功</li> <li>• 4 = 失敗/キャンセル</li> </ul>
説明	VARCHAR	1024	true	配置ステータスの説明。

## UACI\_IdsByType

このテーブルには、(CH ステージング・テーブルおよび RH ステージング・テーブルへの新規行の挿入に使用する 1 次キーの) さまざまなオブジェクト・タイプの次の有効な ID が保管されます。システムでは、これらを使用してシステム内でグローバルに一意的な ID を生成することで、固有性検査の必要性をなくします。この

テーブルでは、オブジェクト (テーブル) のタイプごとにカウンターが保持されています。新規行が作成されるたびに、カウンターの現行値が 1 次キーとして使用され、カウンターがインクリメントされます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TypeID	INT64		false	特定のオブジェクト・タイプの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
NextID	INT64		false	オブジェクトの次に使用可能な ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。

## UACI\_SOType

スコアのオーバーライド・タイプが列挙されたタイプ・テーブル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OverrideTypeID	INT32		true	ScoreOverride テーブルのレコードを、既存の候補オファーをオーバーライドするために使用するのか、それとも、追加 (ホワイトリスト) 形式でも使用するのかを示します。0 または NULL の場合、システムは候補リスト内の一致する処理のスコアをオーバーライドするためののみ、レコードを使用します。1 の場合、システムは、レコードがまだ存在しない場合にレコードを候補リストに追加します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>0 = オファーの候補リストにオファーが存在する場合にのみ、オファーのスコアをオーバーライドする</li> <li>1 = オファーの候補リストにオファーが存在しない場合にのみ、オファーのスコアをオーバーライドする</li> </ul>
名前	VARCHAR	64	true	オーバーライドのタイプの名前。
説明	VARCHAR	512	true	オーバーライドのタイプの説明。

## UACI\_TrackingType

トラッキング・タイプ (byTreatment、byOfferID など) の各列挙が含まれるタイプ・テーブル。ユーザーは顧客固有のコードまたは代替コードをこのテーブルに追加できます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TrackingCodeType	INT32		false	1 次キー。各トラッキング・コード・タイプの固有 ID。値は 1、2 およびそれ以上。
名前	VARCHAR	64	false	トラッキング・コード・タイプの名前 (1 = 処理コード、2 = オファー・コード)。
説明	VARCHAR	512	true	トラッキング・コード・タイプの説明 (1 = UACI 生成処理コード、2 = UAC Campaign オファー・コード)。

## UACI\_RUNTAB\_Ver

現行のインストール済み Interact ランタイム・システム・テーブルのバージョン情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン・テーブルの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
VersionNumber	VARCHAR	50	false	フル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド)。
パラメーター	VARCHAR	255	true	オプション・パラメーター。このフィールドは、現在は使用されていませんが、将来使用するために確保されています。
CreateDate	DATETIME		false	Interact ランタイム・システム・テーブルがインストールされた日付。

## UACI\_SvcTableLock

これは、RH ステージング・テーブルと CH ステージング・テーブルの間で処理を同期させるための mutex のように使用されるテーブルです。この mutex を使用するモジュールは、ETL プロセスおよび外部ローダー機能の 2 つです。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TableName	VARCHAR	64	false	ETL プロセスまたは外部ローダー機能がロックするテーブルの名前を表します。

## UACI\_OfferCount

getOffers 呼び出しによってオファーが推奨されて渡された回数を保管するために使用されるテーブル。ランタイム・インスタンスは、この一元的な場所を使用して、オファーの制約ルールを適用します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
ConstraintID	INT64		false	1 次キー。各制約の固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	制約を含む対話式チャンネルの ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CurrentOfferCount	INT32		false	getoffers 呼び出しで提供するためにランタイム・インスタンスがこのオファーを「割り当てた」合計回数。
LogTime	DATETIME		false	

## UACI\_OfferCountLck

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LogTime	DATETIME		false	

## UACI\_UserEventActivity

このテーブルには、どのユーザー定義イベントが、いつ、何回、顧客対応システムから通知されたかを示す要約統計がオーディエンス ID ごとに保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルの行の固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	外部キー。対話式チャンネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	false	対話式チャンネルの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CategoryID	INT64		false	イベントが含まれるカテゴリーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CategoryName	VARCHAR	64	false	カテゴリーの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
EventID	INT64		false	イベントの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
EventName	VARCHAR	64	false	イベントの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
TimeID	INT64		true	外部キー。このイベントの発生時刻を参照。
DateID	INT64		true	外部キー。このイベントの発生日付を参照。
Occurrences	INT64		false	今回のイベントの発生回数を示すカウント。
CustomerID	INT64		false	有効なオーディエンス ID。

## UACI\_EventPatternState

このテーブルには、指定のオーディエンス ID に関連付けられている定義済みのイベント・パターンの状態に関する情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
UpdateTime	INT64		false	このレコードが最後に更新された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
State	BINARY	1000	true	このオーディエンス ID に関連付けられているすべてのイベント・パターンの状態。
CustomerID	INT64		false	このイベント・パターンに関連付けられている有効なオーディエンス ID。

## UACI\_EventPatterns

このテーブルには、指定された各イベント・パターンの最新の更新時刻が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PatternID	INT64		false	このイベント・パターンの ID。
EventIDs	VARCHAR	200	false	このパターンがサブスクライブするイベントの ID。
UpdateTime	INT64		false	このイベント・パターンの定義が最後に更新された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
CompatibleTime	INT64		false	このイベント・パターンの定義が最後に適合可能だった日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
DetailInfo	VARCHAR	2000	true	このパターンの定義に関する詳細情報。





## 第 3 章 IBM Interact 学習テーブル

IBM Interact 設計サーバーをインストールしたら、学習サービスを実行するために Interact が必要とするテーブルをデータ・ソース内にセットアップする SQL スクリプトも実行します。本書は、学習テーブルの構造と内容について記載したデータ辞書として使用できます。

### UACI\_OfferTxAll

このテーブルは、オファー・レベルで学習サービスによって収集されるサマリー・レベル統計のステージング領域として機能します。バックグラウンドの集約機能プロセスによって、このテーブルのデータをマージしたものが UACI\_OfferStatsAll テーブルに挿入され、処理済みの行が UACI\_OfferTxAll から削除されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64		false	このテーブルのレコードの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
OfferID	INT64		true	オファーの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
AcceptCount	INT32		true	最後の挿入以降に行われた、このオファーの承認の総数。
PresentCount	INT32		true	最後の挿入以降に行われた、このオファーの提示 (コンタクト) の総数。
LogTime	DATETIME		true	このレコードがこのテーブルに追加されたときのタイム・スタンプ。

### UACI\_AttributeValue

このテーブルには、システムが現在学習中のすべての属性値が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AttributeName	VARCHAR	128	false	組み込み学習アルゴリズムの学習対象となる属性の名前。有効なデータベース列名でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AttributeValue	VARCHAR	128	false	組み込み学習アルゴリズムの学習対象となる属性の有効な値。
AttributeType	INT32		false	AttributeValue のデータ型 (0:数値、1:ストリング)。

## UACI\_OfferStatsLck

このテーブルは、複数の学習集約機能プロセスが同時に実行されないようにする mutex として機能します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
LastMergeTimeStamp	DATETIME		false	このフィールドは、学習集約機能が最後に正常に実行された時刻を表します。
LastTxId	INT64		false	これは、集約機能プロセスによって処理された TX テーブルの最後の seqNum を表します。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
CurrentTableName	VARCHAR	100	false	ステージング・オファー統計データが保持されているテーブルの名前。UACI_OfferStatsTx または UACI_OfferStatsTx_2 のいずれかです。
PrevTableName	VARCHAR	100	false	ステージング・オファー統計データが保持されていないテーブルの名前。UACI_OfferStatsTx_2 または UACI_OfferStatsTx のいずれかです。

## UACI\_OfferStats

このテーブルには、後にナイーブ・ベイズ・アルゴリズムへの入力となる属性値ごとのオファー統計が保管されます。またレポートでは、このテーブルに基づいて承認の可能性が表示されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferID	INT64		false	オファーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
AttributeName	VARCHAR	128	false	このレコードが表す属性の名前。有効なデータベース列名でなければなりません。
AttributeValue	VARCHAR	128	false	このレコードが表す属性の値/インスタンスを含む有効なストリング。
AcceptCount	INT64		true	属性値が付与されたこのオファーの承認の総数。
PresentCount	INT64		true	属性値が付与されたこのオファーの提示の総数。
AttributeType	INT32		false	<code>AttributeValue</code> のデータ型 (0:数値、1:ストリング)。
AcceptRWA	FLOAT		true	RWA 構成を使用する、このオファーの承認の割合。
RejectRWA	FLOAT		true	RWA 構成を使用する、このオファーの拒否の割合。
Predictability	INT32		true	このレコードの統計が予測に役立つかどうかを示すフラグ。0 は、予測に役立ちません。1 は、予測に役立ちます。この値は、集約機能が実行されるたびに更新されます。

## UACI\_OfferStatsTx

これは、学習サービスがコンタクトおよびレスポンスの発生を記録するステージング・テーブルです。このテーブルには集約情報は保管されません。ここにある情報は、バックグラウンド・スレッドによって処理され、処理済みの行は削除されます。ここにあるデータを使用して、最終的なテーブル `UACI_OfferStats` が更新されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNum	INT64			このテーブルのレコードの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferID	INT64		true	オファ어의固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
AttributeName	VARCHAR	128	true	このレコードが表す属性の名前。有効なデータベース列名でなければなりません。
AttributeValue	VARCHAR	128	true	このレコードが表す属性の値/インスタンス。
AcceptCount	INT32		true	このテーブルへの最後の挿入以降に行われた、属性値が付与されたこのオファ어의承認の総数。
PresentCount	INT32		true	このテーブルへの最後の挿入以降に行われた、属性値が付与されたこのオファ어의提示の総数。
LogTime	DATETIME		true	このレコードがこのテーブルに追加されたときのタイム・スタンプ。
AttributeType	INT32		true	属性値のデータ型 (0:数値、1:ストリング)。

## UACI\_OfferStatsTx\_2

これは、学習サービスがコンタクトおよびレスポンスの発生を記録するステージング・テーブルです。このテーブルの構造は、UACI\_OfferStatsTx とまったく同じであり、この 2 つのテーブルは選択的に、ステージング・データを保持するために使用されます。なお、このテーブルにデータが記録されるのは、組み込み学習バージョン 2 が Interact 構成で選択されている場合に限られます。

## UACI\_OfferStatsTx\_Syn

これは、UACI\_OfferStatsTx または UACI\_OfferStatsTx\_2 のいずれかを指すシノニムであり、学習ステージング・データを保持するためのターゲットとして使用されます。

## UACI\_OfferStatsAll

このテーブルには、オファー・レベルのサマリー学習統計が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferID	INT64		false	オファーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
AcceptRWA	FLOAT		false	承認に関するすべての属性にわたる RWA 全体の平均。
AcceptCount	INT64		true	承認に関するすべての属性にわたる全体のカウント。
PresentCount	INT64		true	提示に関するすべての属性にわたる全体のカウント。

## UACI\_LRNTAB\_Ver

現行のインストール済み学習テーブルのバージョン情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン・テーブルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
VersionNumber	VARCHAR	50	false	フル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド)
パラメーター	VARCHAR	255	true	オプション・パラメーター。このストリング値は、現在は使用されていませんが、将来使用するために確保されています。
CreateDate	DATETIME		false	Interact 学習テーブルがインストールされた日付。

## UACI\_AttributeList

「配列を使用した学習」機能をサポートするための、属性のリストとそれに対応する列情報が保管されています。ここに指定された列の内容により、システムが学習する値を検索する場所が決定します (これに対し、構成内に属性をハードコーディングする方法もあります)。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AttributeName	VARCHAR	64	false	このレコードが表す属性の名前。
AttributeNameCol	VARCHAR	64	false	学習する属性名のインスタンスを含む列への完全修飾パス。
AttributeValCol	VARCHAR	64	false	学習する属性値のインスタンスを含む列への完全修飾パス。

## 第 4 章 IBM Interact ユーザー・テーブル

IBM Interact ランタイム・サーバーをインストールしたら、SQL スクリプトを実行して、Interact の動作に必要なユーザー・テーブルをデータ・ソース内にセットアップする必要もあります。本書は、ユーザー・テーブルの構造および内容が記載されたデータ・ディクショナリーとして使用できます。

### UACI\_DefaultOffers

提示するか検討すべきデフォルトのオファーがオーディエンス・レベル別に保管されたテーブル。このテーブルは、UACI\_ScoreOverride テーブルでサポートされるすべてのホワイトリストおよびオファー・ルール列をサポートします。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
AudienceLevel	VARCHAR	64	false	このフィールドは、このレコードが適用されるオーディエンス・レベル (顧客、世帯など) です。
OfferCode1	VARCHAR	64	false	offerCode の最初の部分。
Score	FLOAT		false	デフォルトの処理で使用するスコア値。
OverrideTypeID	INT32		true	オーバーライドのタイプ。このレコードがホワイトリスト機能を実行するのか、それともオーバーライドのみの機能を実行するのかを示します。
Predicate	VARCHAR	4000	true	述部の式のロジック。
FinalScore	FLOAT		true	このフィールドは、組み込み学習で使用する最終的なスコアを表します。実質的に、これは、組み込みの計算が行うあらゆる中間計算をバイパスします。
CellCode	VARCHAR	64	true	レポートに使用するセルのコード。
Zone	VARCHAR	64	true	このレコードが適用されるゾーンの名前。NULL の場合は、すべてのゾーンに適用されます。
EnableStateID	INT32		true	詳細ルール (述部) を適用する必要があるかどうかを示す EnableState ID。

### UACI\_ScoreOverride

このテーブルには、顧客 ID 別にオファーが保管されます。OverrideTypeID 列に指定されたモードに応じて、このオファーが処理候補リストに追加されるか、あるいはこのオファーによって既存の処理のスコアがオーバーライドされるかのいずれかになります。このテーブルは、「方法」タブのすべての機能をサポートします

が、テーブル形式であり、オーディエンス ID のレベルです (「方法」タブはセグメント・レベルのみです)。また、ユーザーはこのテーブルに列を追加できます。追加の列のデータには学習インターフェースからアクセス可能です。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
CustomerID	INT64		false	オーディエンス・レベル「顧客」のオーディエンス ID。
OfferCode1	VARCHAR	64	false	offercode の最初の部分。
Score	FLOAT		false	オーバーライド/ホワイトリストで使用する明示的なスコア (詳細ルールがアクティブ化されている場合を除く)。
OverrideTypeID	INT32		true	オーバーライドのタイプ。このレコードがホワイトリスト機能を実行するのか、それともオーバーライドのみの機能を実行するのかを示します。
Predicate	VARCHAR	4000	true	述部の式のロジック。
FinalScore	FLOAT		true	このフィールドは、組み込み学習で使用する最終的なスコアを表します。実質的に、これは、組み込みの計算が行うあらゆる中間計算をバイパスします。
CellCode	VARCHAR	64	true	レポートに使用するセルのコード。
Zone	VARCHAR	64	true	このレコードが適用されるゾーンの名前。NULL の場合は、すべてのゾーンに適用されます。
EnableStateID	INT32		true	詳細ルール (述部) を適用する必要があるかどうかを示す EnableState ID。

## UACI\_BlackList

これは、オーディエンス・レベル「顧客」に使用するために設計されたデフォルトのテーブルです。このテーブルには、顧客対応システムに提示すべきでないオファーが customerID 別に保管されています。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
CustomerID	INT64		true	オーディエンス・レベル「顧客」のオーディエンス ID。
OfferCode1	VARCHAR	64	false	offercode の最初の部分。

## UACI\_USRTAB\_Ver

現行のインストール済み Interact ユーザー・テーブルのバージョン情報が保管されます。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン・テーブルの固有 ID。
VersionNumber	VARCHAR	50	false	フル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド)。
パラメーター	VARCHAR	255	true	オプション・パラメーター。これは現在は使用されていませんが、将来使用するために確保されています。
CreateDate	DATETIME		false	Interact ユーザー・ベースのテーブルがインストールされた日付。



## 第 5 章 IBM Interact コンタクトおよびレスポンス履歴テーブル

IBM Interact 設計サーバーをインストールしたら、コンタクトとレスポンスの履歴データをトラッキングするために Interact が必要とするテーブルをデータ・ソース内にセットアップする SQL スクリプトも実行します。本書は、コンタクトおよびレスポンス履歴テーブルの構造および内容について記載したデータ辞書として使用できます。

### UACI\_XSessResponse

このテーブルは、システムを通過して入ってくるクロスセッション・レスポンスのためのステージング・テーブルです。クロスセッション・レスポンスには追加の処理が必要なため、通知されたイベントを処理するクライアント・スレッドは、このテーブルにログを記録したサービスにレスポンスを渡すという最低限の処理を行います。バックグラウンド・スレッドが、このテーブルを照会して適宜調整を行います。処理されたレコードは、その同じバックグラウンド・スレッドが UACI\_XSessResponse テーブルから削除します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
SeqNumber	INT64		false	このテーブルのレコードの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICID	INT64		false	対話式チャンネルの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CustomerID	INT64		false	オーディエンス・レベル「顧客」のオーディエンス ID。
TrackingCode	VARCHAR	64	false	レスポンスに関連付ける処理を表すために CFS から送信されるコード。
TrackingCodeType	INT32		false	CFS から送信された TrackingCode のタイプ (TreatmentCode、OfferCode、alternateCode など)。1、2、およびそれ以上でなければなりません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
OfferID	INT64		true	オファーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
ResponseType	INT32		false	これが承認と拒否のどちらであるかを示すタイプ。有効な値は、未定義 (0)、承認 (1)、拒否 (2) です。
ResponseTypeCode	VARCHAR	64	true	このレスポンスに関連付けられているユーザー定義レスポンス・タイプ・コードを区別するための追加のコード。有効な値については、「 <i>IBM Campaign System Tables</i> 」ガイドで <code>UA_UsrResponseType</code> テーブルの <code>ResponseTypeCode</code> を参照してください。
ResponseDate	DATETIME		false	レスポンスのタイム・スタンプ。
Mark	INT64		true	処理するレコードを判別するためにシステムで使用される、状態を示すフィールド。有効な値は、NULL、-1、0、2 です。
UserDefinedFields	CHAR	18	true	このフィールドは、ユーザーがカスタマイズ可能な任意のフィールドを表します。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。

## UACI\_CRHTAB\_Ver

現行のインストール済み Interact CH/RH テーブルのバージョン情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
VersionID	INT64		false	1 次キー。バージョン・テーブルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
VersionNumber	VARCHAR	50	false	フル・バージョン (メジャー、マイナー、点、およびビルド)

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
パラメーター	VARCHAR	255	false	オプション・パラメーター。このストリング値は、現在は使用されていませんが、将来使用するために確保されています。
CreateDate	DATETIME		false	Interact CH/RH テーブルがインストールされた日付。



## 第 6 章 IBM Interact イベント・パターン・レポート・テーブル

このセクションでは、IBM Interact イベント・パターン・レポートのデータベース・スキーマ設計について説明します。イベント・パターン・レポートの実行時間を向上させるために、レポートは、集約されたデータを実行対象とするように設計されています。集約処理では、トランザクション ETL データを収集し、複数の異なるテーブルに保管します。レポートは、それらのテーブルに基づいて生成されます。集約データが保管されるそれらのテーブルについて、以下に説明します。

### UARI\_PATTERN\_COUNTER

このテーブルには、「カウンター」パターン・タイプに関する集約データが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
PATTERNSTATEINSTANCEIDS	BIGINT			パターン状態インスタンスの数
TYPE	INT			「カウンター」タイプの場合、タイプ-2
AUDIENCELEVEL	VARCHAR(192)			オーディエンス・レベル
TOTALCOUNTSCORE	BIGINT			合計カウント・スコア
EXPECTEDCOUNTSCORE	BIGINT			パターンのトリガーを指示するために必要なカウント・スコア
COUNTSCORE	BIGINT			イベント・ヒットのカウント・スコア
MINCOUNTSCORE	BIGINT			最小カウント・スコア値
MINROW	INT			パターンの最小カウント・データを示す行

### UARI\_PATTERN\_MATCHALL

このテーブルには、「すべて一致」パターン・タイプに関する集約データが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
PATTERNSTATEINSTANCEIDS	BIGINT			パターン状態インスタンスの数
TYPE	INT			「すべて一致」タイプの場合、タイプ-1
AUDIENCELEVEL	VARCHAR(192)			オーディエンス・レベル
NOOFEVENTS	BIGINT			このパターン状態インスタンスのイベント・ヒット数

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TOTALEVENTS	BIGINT			パターンのイベントの総数

## UARI\_PATTERN\_WC

このテーブルには、「重みづけカウンター」パターン・タイプに関する集約データが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
PATTERNSTATEINSTANCEIDS	BIGINT			パターン状態インスタンスの数
TYPE	INT			「重みづけカウンター」タイプの場合、タイプ-3
AUDIENCELEVEL	VARCHAR(192)			オーディエンス・レベル
TOTALCOUNTSCORE	BIGINT			合計カウント・スコア
EXPECTEDCOUNTSCORE	BIGINT			パターンのトリガーを指示するために必要なカウント・スコア
COUNTSCORE	BIGINT			イベント・ヒットのカウント・スコア

## UARI\_PATTERN\_EVENTHITS

このテーブルには、パターンのイベント・ヒットに関する集約データが保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
EVENTID	BIGINT			イベント ID
TYPE	INT			以下のいずれかのタイプです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 - すべて一致</li> <li>• 2 - カウンター</li> <li>• 3 - 重みづけカウンター</li> </ul>
AUDIENCELEVEL	VARCHAR(192)			オーディエンス・レベル
EVENTNAME	VARCHAR(192)			イベント名
EVENTWEIGHT	BIGINT			イベントの重みづけ
EVENTHITS	BIGINT			このイベントのイベント・ヒット数

## UARI\_PROCESSED\_PATTERNS

このテーブルは、パターンの処理をトラッキングし、パターンの処理時間を保管するためのものです。



フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
PROCESSEDTIME	TIMESTAMP			このパターン ID における処理時間
REGENFLAG	CHAR(1)			再生成フラグ: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Y - はい (集約のために処理する)</li> <li>• N - いいえ (集約のために処理しない)</li> </ul>
RUNID	BIGINT			実行 ID
PATTERNTYPE	VARCHAR(2)			パターン・タイプ: <ul style="list-style-type: none"> <li>• MA - すべて一致</li> <li>• C - カウンター</li> <li>• WC - 重みづけカウンター</li> </ul>
PARALLEL_DEGREE	INT			特定のパターン・タイプにおいて、同時に処理するパターンの数
PROCESS_FLAG	CHAR(1)			集約の新規/差分パターンの処理フラグ: <ul style="list-style-type: none"> <li>• N - 新規</li> <li>• U - 更新</li> <li>• D - 削除</li> </ul>

## UARI\_DELTA\_PATTERNS

このテーブルは、変更されるパターンのための更新/削除フラグを使用して ETL テーブルによって更新され、差分パターンの識別のために使用されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID	BIGINT			パターン ID
UPDATEFLAG	CHAR(1)			更新フラグ: <ul style="list-style-type: none"> <li>• U - 更新</li> <li>• D - 削除</li> <li>• P - 処理</li> </ul>
PATTERNTYPE	VARCHAR(2)			パターン・タイプ: <ul style="list-style-type: none"> <li>• MA - すべて一致</li> <li>• C - カウンター</li> <li>• WC - 重みづけカウンター</li> </ul>

## UARI\_RUNS

このテーブルには、新規実行のたびに生成される実行 ID が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RUNID	BIGINT			実行 ID

## UARI\_DELTA\_REFRESH\_LOG

このテーブルには、各々の実行の内容が記録されます。処理されたパターンの数を示します。また、実行中にエラーが発生した場合は、エラーも収集されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RUNID	BIGINT			実行 ID
OBJECT	VARCHAR(100)			プロシージャの名前
MESSAGE_LINE	VARCHAR(1000)			実行に関する適切なメッセージ行
TOTALPATTERNS	INT			処理されたパターンの総数
PATTERNID	BIGINT			失敗したパターン ID
INSERTTIME	TIMESTAMP			レコード作成時間
PARALLEL_DEGREE	INT			特定のパターン・タイプにおいて、同時に処理するパターンの数

## UARI\_RUN\_LOG

このテーブルには、UARI\_Pattern\_Lock テーブルのすべての実行履歴が記録されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RUNID	BIGINT			実行 ID
PATTERNTYPE	VARCHAR(2)			パターン・タイプ • MA - すべて一致 • C - カウンター • WC - 重みづけカウンター
ISLOCK	CHAR(1)			• Y - 集約は処理中/失敗 • N - 集約は完了/未開始
STARTTIME	TIMESTAMP			集約実行の開始時刻
ENDTIME	TIMESTAMP			集約実行の終了時刻
PARALLEL_DEGREE	INT			特定のパターン・タイプにおいて、同時に処理するパターンの数
DBMS_JOBID	BIGINT			データベース・ジョブ ID

## UARI\_PATTERNSTATE\_INFO

このマテリアライズ・ビューは、対話式チャネル (IC) およびカテゴリの各パターンに関する状態およびオーディエンス・レベル情報を取得するためのものです。Oracle および DB2 専用です。Microsoft SQL Server はマテリアライズ・ビューをサポートしていないため、このビューは Microsoft SQL Server DDL スクリプトには含まれていません。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID				
PATTERNNAME				
CATEGORYID				
CATEGORYNAME				
ICID				
ICNAME				
TYPE				
STATE				
AUDIENCELEVEL				

## UARI\_PATTERN\_INFO

このビューは、集約処理の処理時間とともに、状態およびオーディエンス・レベル情報を取得するためのものです。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNID				
PATTERNNAME				
CATEGORYID				
CATEGORYNAME				
ICID				
ICNAME				
TYPE				
STATE				
AUDIENCELEVEL				
PROCESSEDTIME				

## UARI\_PATTERN\_LOCK

これは、システムで一度に 1 つだけ実行されるようにし、集約処理の並列度合いをトラッキングするためのテーブルです。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
RUNID	BIGINT			実行 ID

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PATTERNTYPE	VARCHAR(2)			パターン・タイプ: <ul style="list-style-type: none"> <li>MA - すべて一致</li> <li>C - カウンター</li> <li>WC - 重みづけカウンター</li> </ul>
ISLOCK	CHAR(1)			<ul style="list-style-type: none"> <li>Y - 集約は処理中/失敗</li> <li>N - 集約は完了/未開始</li> </ul>
STARTTIME	TIMESTAMP			集約実行の開始時刻。
ENDTIME	TIMESTAMP			集約実行の終了時刻。
PARALLEL_DEGREE	INT			特定のパターン・タイプにおいて、同時に処理するパターンの数。
DBMS_JOBID	BIGINT			このフィールドにデータベース・ジョブ ID が入っている場合、これは DB ジョブの状況をチェックするためのものです。

## UARI\_TRIGGER\_STATE

このビューは、現在のトリガー状態を検出するために使用します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
TRIG_CONF				<ul style="list-style-type: none"> <li>0 - トリガーは有効</li> <li>1 - トリガーは無効</li> </ul>

## 第 7 章 IBM Interact イベント・パターン ETL テーブル

IBM Interact イベント・パターン ETL プロセスをインストールしたら、Interact の動作に必要なイベント・パターン・テーブルをデータ・ソース内にセットアップする SQL スクリプトも実行します。本書は、イベント・パターン・テーブルの構造および内容について記載したデータ辞書として使用できます。

### UACI\_ETLPatternEventInfo

このテーブルには、パターンが有効かどうかや開始時刻と終了時刻など、指定したイベント・パターンごとの最新のイベント情報が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PatternEventId	INT64		false	このイベント・パターンの ID。
名前	VARCHAR	64	false	イベント・パターンの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
CategoryId	INT64		false	イベントが含まれるカテゴリーの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
CategoryName	VARCHAR	64	false	カテゴリーの名前。任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く) を使用できます。
ICId	INT64		false	イベント・パターンが属する Interact チャンネルの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
ICName	VARCHAR	64	false	イベント・パターンが属する Interact チャンネルの名前。
SourceDB	VARCHAR	128	true	このイベント・パターンが ETL プロセスによって転送されたときの転送元データ・ソース。これは通常、ETL 構成ファイルで指定されている Interact ランタイム・データ・ソースです。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
タイプ	INT32		true	イベント・パターンのタイプ。
UpdateTime	INT64		false	このイベント・パターン・レコードが最後に更新された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
StartTime	INT64		true	このイベント・パターンが有効になる日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
EndTime	INT64		true	このイベント・パターンが有効でなくなる日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
resetDuration	INT64		true	パターンが true 状態を保持する延長期間。この期間が経過すると、パターンはリセットされてイベントの評価を再開します。
isEnabled	INT32		true	イベント・パターンがアクティブかどうかを示すブール値。

## UACI\_ETLPatternStateItem

このテーブルには、パターン状態インスタンスの詳細が保管されます。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PatternStateInstanceId	INT64		false	イベント・パターン状態インスタンスの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的正整数でなければなりません。
EventId	INT64		false	イベントの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的正整数でなければなりません。
EventCount	INT32		false	イベントが検出された回数。
EventWeight	INT64		true	「重みづけカウンター」 イベント・パターンで使用するイベントのスコア (特定のイベントに割り当てられた重み)。

## UACI\_ETLPatternStateRun

このテーブルは、各 ETL 実行の詳細を追跡します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
Starttime	DATETIME		false	このイベント・パターン状態実行が開始された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
Endtime	DATETIME		true	このイベント・パターン状態実行が完了した日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
ステータス	INT32		false	特定の ETL 操作の現在の状況を、以下のいずれかと一致する値で示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 0: 準備中</li><li>• 1: 進行中</li><li>• 2: 失敗で完了</li><li>• 3: 正常に完了</li></ul>

## UACI\_ETLPatternState

ある特定の AudienceID のパターン状態のインスタンスを保持します。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PatternStateInstanceId	INT64		false	イベント・パターン状態インスタンスの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
AudienceId	VARCHAR	128	false	このパターン状態インスタンスに関連付けられたオーディエンスの固有 ID。生成値の <code>internalIDLowerLimit</code> 構成パラメーター値から <code>internalIDUpperLimit</code> 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意の正整数でなければなりません。
AudienceLevel	VARCHAR	64	false	AudienceID で指定されたオーディエンスが属するオーディエンス・レベル。

フィールド	タイプ	長さ	NULL の許可	説明
PatternId	INT64		false	この ETL プロセスに関連付けられたイベント・パターンの固有 ID。生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値から internalIDUpperLimit 構成パラメーター値までの範囲内の、グローバルに一意的な正整数でなければなりません。
State	INT32		false	PatternID が示すイベント・パターンの現在の状態。以下のいずれかの値です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1: パターン起動済み</li> <li>• 0: 未起動</li> <li>• -1: 期限切れ</li> <li>• -2: 無効</li> </ul>
TotalCountScore	INT64		false	特定のイベントが検出された合計回数。TotalCountScore は、イベント・パターンをトリガーするタイミングを決定するために使用されます。
ExpectedCountScore	INT64		false	イベント・パターンをトリガーするために必要な、特定のイベントの合計検出回数 (状態が 1 に設定されます)。
UpdateTime	INT64		false	このパターン状態 ETL が最後に更新された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。
ActivationTime	INT64		true	このパターン状態 ETL がアクティブ化された日時 (yyyyMMddhhmmss 形式)。値 -1 は、まだアクティブ化されていないことを示します。



---

## IBM 技術サポートへのお問い合わせ

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートにお問い合わせすることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するには、問い合わせる前に情報を収集してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

### 収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手できる、製品およびシステム環境に関する情報。

### システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、ご使用の IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択してください。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、各アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを表示すると、任意の IBM アプリケーションのバージョン番号を入手することができます。

### IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト ([http://www.ibm.com/support/entry/portal/open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request)) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、できるだけ IBM カスタマー番号にリンク済みのアカウントにしてください。お客様の IBM カスタマー番号とアカウントとの関連付けについて詳しくは、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
B1WA LKG1  
550 King Street  
Littleton, MA 01460-1250  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

---

## プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置す

ることを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』  
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。





Printed in Japan